

2022年12月14日

大腸癌肝転移切除における、biological borderline resectable の新たな定義の可能性

◆研究の目的と概要◆

大腸癌肝転移に対する治療の基本は外科的切除であり、大腸癌治療ガイドラインにも「他の治療法で得られない良好な成績」と明記されています。しかし、根治切除を施行した症例においても術後早期に再発する症例も多く、集学的な治療計画の検討が重要です。

◆対象となる患者さん◆

2017年1月から2019年12月までの間に大腸癌肝転移と診断され当院で肝転移に対する手術を施行された患者さん。

◆研究に使用される情報◆

早期の再発に関与するものとして検討された項目：同時・異時・原発のリンパ節転移、大きさ・肝転移の個数、大きさ・化学療法の有無。

◆研究方法◆

本研究は当院の大腸癌肝転移データベースを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中のデータ、また、既に学会で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 盛田 興輔

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明